

## 4. 昭和 32 年度の研究成果発表の状況

### 出 版 物

次の 3 種がある。

#### 東京大学生産技術研究所報告 (略称 生研報告)

所員のまとまった研究成果を発表する。文は和文または欧文とし、不定期発行で年間 10 種前後を出している。

#### 生 産 研 究

研究の解説的紹介と速報的紹介とをかね、月刊で出している。

以上は、当所の発行の分で、その他随時に学会誌、協会誌の各誌に発表している。

#### 生研リーフレット

生研の研究成果で、実用化への手引とするため、簡略に写真中心に編集したもので、現在 64 種を発行している。

昭和 32 年度 (4 月～3 月) に発表した分を次に列挙する。

#### A. 東京大学生産技術研究所報告 (研究発表誌)

巻号	題 目	著 者	発行年月
6・6	金属加工ならびに写真感光に応用される固体結晶中の不完全性に関する研究 (英文)	神前 熙	32. 9
6・7	1 トン試験高炉の操業について	金森 九郎 および研究員	32. 9
7・1	直視型超音波厚み計とその非破壊検査への応用	丹羽 登	33. 2
7・2	船体抵抗比較則に関する研究	田宮 真	33. 2
7・3	不規則入力および階段状入力に対するサンプル値制御系の研究	森 政弘	33. 3
7・4	基礎系溶融スラッグの構成と成文の挙動について (英文)	坂上 六郎 松下 幸雄	33. 3
7・5	電子回折法および接触電気抵抗測定法による仕上面表面層の研究 (英文)	松永 正久	33. 3

## B. 生産研究（月刊研究紹介誌）

巻号	題 目	著 者	発行年月
9・4	所長就任挨拶	谷 安正	32. 4
	カッパ・ロケット 128 J-T, 128 J-TR の実験	高木 昇	"
	カッパ・ロケット用アンテナ	黒川 兼行・永友 英世 山下不二雄・瓜本 信二	"
	カッパ・ロケットのテレメータ装置	野村 民也	"
	IIS-TM 2型テレメータ送信機	倉茂 周芳	"
	IIS-TR 3型テレメータ送信機	大井 克彦	"
	IIS-TM 3型送信機電源用電池	佐伯 昭雄 大井 克彦 麻生 進 佐伯 昭雄 松野 四郎 住本 捨夫	"
	カッパ 128 J-T, TRテレメータ受信設備		"
	1. テレメータ受信所	高木 昇	
	2. テレメータ受信用アンテナ	黒川 兼行 須田 徳蔵	
	3. IIS-TM 3型受信装置の信号弁別器	大井 克彦 高橋 健一	
	自動追跡レーダ装置	野村 民也 倉茂 周芳	"
	テレメータ実験記録および結果の考察	テレメータ研究班	"
	自動追跡レーダ装置実験記録およびその考察	自動追跡レーダ研究班	"
	計測器および計測結果の考察		"
	1. ロケット用加速度計	吉山 巖・中村 巖	
	2. カッパ 128 J-TR における横方向 加速度の測定	池田 健 富田 文治	
	3. 抵抗線歪計（ロケット搭載用）	森 大吉郎	

巻号	題	目	著者	発行年月
			荘司 敦	32. 4
4.	白金温度計	野村 民也・山本	尚志	
6.	ヒューズ温度計	糸川 英夫・吉山	巖	
		井上	俊男	
6.	カップ 128 J 型用マッハ計, 高度計	山口	隆男	
		二宮香二郎・日沖	松美	
	カップ 128 J-T, カップ 128 J-T R 飛し	丹羽	登	"
	よう実験における通信連絡	高中 泓澄・横田	和丸	
		市川	初男	
	高速度カメラによるカップ 128 J-T R	植村	恒義	"
	ケットの飛しょう特性の解析	伊藤 寛治・戸田	健次	
	——高速飛しょう体の光学	中西 公弘・竹林	勇	
	的追跡に関する研究	西村 明夫・伊藤	房江	
	第 11 報——			
	光学的追跡装置によるカップ T	植村 恒義・山本	芳孝	"
	ロケット飛しょう特性の解	近江 久行・山谷健三郎		
	析——高速飛しょう体の光学的追	内藤 茂		
	跡に関する研究 第 12 報——			
	ロケット用光学的追跡装置の時間的同期に	植村 恒義		"
	ついて——高速飛しょう体の光学的追跡	山谷健三郎		
	に関する研究 第 13 報——			
	カップ 128 J-T, T R 実験全般記録	高木 昇		"
		高中 泓澄		
	総務班雑記——総務班の任務の経験的記述	下村潤二郎		"
	——			
	簡易時分割テレメータ送信機 (II)	猪瀬 博		"
		永友 英世		
	時分割テレメータ受信記録装置	猪瀬 博		"
		永友 英世		
	ヤードニー社製銀電池の放電特性	高木 昇		"
		石橋 泰雄		
	平面ラップ盤におけるラップ修正輪の作用	松永 正久		"
	(速報)			

巻号	題 目	著 者	発行年月
9・5	恩師 友田宜孝先生	中村 亦夫	32. 5
	製版用硬調乳剤製造に関する研究	大橋 承九	〃
	野崎 弘・菊地 真		
	ストレートライン新型式 伸線機	鈴木 弘	〃
	石原 智男		
	欧州雑見 (その1)	高橋 武雄	〃
	ラジアル・ガスタービンの研究 (第3報)	水町 長生	〃
	——円周ノズルについて—— (速報)	内田 正次	
	金子 和男		
	ラジアル・ガスタービンの研究 (第4報)	水町 長生	〃
	——各種の損失および動翼内のすべり—— (速報)	内田 正次	
	金子 和男		
	空気油圧式倣い装置 (速報) 竹中 規雄	鳴沢 勇平	〃
	エチレンの四塩化炭素とのテロメリゼーションによる二塩基酸の製造について (速報)	浅原 照三	〃
高木 行雄			
宮崎 智雄			
新潟県鯖石川の川口の移動について (速報)	井口 昌平	〃	
田宮ひろ子			
9・6	スティール・サッシュのすきまによる通気について	勝田 高司	32. 6
	後藤 滋	寺沢 達二	
	微分解析用機自動曲線追従装置	渡辺 勝	〃
	三井田純一	渡部 弘之	
	欧州雑見 (その2)	高橋 武雄	〃
	アメリカの大学教授生活	高橋 安人	〃
	アナログ・コンピュータによる棒の振動解析	森 大吉郎	〃
	アナログ・コンピュータによる二次元翼のフラッタ解析について (速報)	富田 文治	〃
9・7	継電器接点振動測定装置	森脇 義雄	32. 7
	エチレンのテロメリゼーションについて	浅原 照三	〃
	高木 行雄		
	きわめて幅の狭い開水路の中の等流の実験	井口 昌平	〃
	浜 守 厚		
欧州離見 (その3)	高橋 武雄	〃	

巻号	題 目	著 者	発行年月
	EDTA滴定法による鉄とアルミニウムの同時定量法(速報)	岡 宗次郎・武藤 義一・和田 芳裕	32. 7
	バレル仕上に関する2,3の実験(その2)(速報)	松永 正久・荻生田善明・内藤 敏	
	ラジアル・ガスタービンの研究(第5報)——ラジアル・タービンの部分負荷特性——(速報)	水町 長生・内田 正次・金子 和男	"
9・8	摩耗試験における接触電気抵抗測定の意義	松永 正久・伊藤 義典	32. 8
	観測ロケット用気圧計としてのピラニゲージ〔II〕——サブ・ミニャチュア管回路の改造とトランジスタ化した回路について——	富永 五郎・岡 田 繁	"
	欧州離見(その4)	高橋 武雄	"
	脂肪酸ビニルエステルとアクリロニトリルとの共重合に関する研究(第1報)(速報)	浅原 照三・三橋 啓了	"
	ロケット搭載電子機器のB電源用トランジスタD. C. コンバータ(速報)	高木 昇・石橋 泰雄	"
9・9	新しい合成繊維	松山 宏・祖父江 寛	32. 9
	オートメーションと自動制御	高橋 安人	"
	圧力遠隔測定の一方法	大井光四郎・浅野 六郎	"
	古代の鋳物技術について	小倉 公達・千々岩健児	"
	マフラーの吸音に関する実験(速報)	勝田 高司・後藤 滋・寺沢 達二	"
	硼酸イオン交換樹脂による塩素イオンからの分離	山辺 武郎・下条うた子	"
	水車特性におよぼす吸出管内空気吸入の影響——続報——(速報)	井田 富夫	"
9・10	試作した薄板深絞り試験機について	山田 嘉昭	32. 10
	アルミニウムのロールボンディングの基礎研究	加藤 正夫・中村 康治・宇井 正泰	"

巻号	題 目	著 者	発行年月
	放射線透過検査法の現状	一色 貞文	32. 10
	現在の住宅問題	池辺 陽	"
	球面 concave 音源による音場(速報)	鳥飼 安生	"
	ラジアル・ガスタービンの研究(第6報)	水町 長生	"
	——Exducer 内の流れについて——(速報)		
9・11	カップⅡ型ロケットおよび 220B型ブースタについて	糸川 英夫	32. 11
	カップⅢ型ロケットについて	糸川 英夫	"
	カップⅡ型およびカップⅢ型の性能計算	井上 俊男	"
		広沢 暁夫	
	カップⅡ型およびⅢ型の重量, 重心, 慣性モーメントの測定について	吉山 巖・中村 巖 井上 俊男・広沢 暁夫	"
	カップⅡ, Ⅲ型ロケットの風洞試験	玉木 章夫	"
		三石 智	
	カップⅢ型用ランチャーについて	池田 健	"
		古田 敏康	
	カップ 128 J の頭部および胴部の挫屈強度について	池田 健	"
		富田 文治	
	カップⅢ型ロケット翼の強度試験結果	池田 健	"
		古田 敏康	
	カップⅢ型の振動試験結果	森 大吉郎・富田 文治	"
	模型実験によるロケットの振動数の推定法	池田 健	"
		富田 文治	
	観測ロケットの空力的加熱	池田 健・三浦 公亮	"
	ロケットの落下衝撃試験	池田 健・古田 敏康	"
		藤城 清治	
	カップ型ⅡおよびⅢ型ロケット飛しょう実験におけるテレメータ, レーダ装置の実験について	高木 昇	"
		野村 民也	
		黒川 兼行	
	カップⅢ型ロケット用アンテナ	黒川 兼行	"
		須田 徳蔵・永友 英世	
	IIS-TM-3A 型テレメータ送信機	大井 克彦	

		佐伯 昭雄	32. 11
IIS-TM3型受信装置	大井 克彦・山下不二雄		〃
	高橋 健一・井上 慎		
レーダ・トランスポンダ	倉茂 周芳・福島 茂		〃
	瓜本 信二		
自動追跡レーダ装置			
1. 測距装置の構成	倉茂 周芳		〃
2. Range Unit	瓜本 信二		〃
3. Automatic Range Tracking Unit	福島 茂		
4. 測距指示装置部	小池 光麿・矢亀 邦夫		
5. 送信機	小池 光麿		
テレメータ実験結果および考察	テレメータ研究班		
自動追跡レーダ記録	自動追跡レーダ研究班		〃
改良MV型加速度計について	吉山 巖・中村 円生		〃
	中村 巖・広沢 曄夫・交告 尚重		
改良MV型加速度計の計測結果について	糸川研究室		〃
白金温度計による頭部温度上昇の測定	野村 民也		〃
	山本 尚志		
カップⅢ型ロケット飛しょう	丹羽 登・高中 泓澄		〃
実験における通信連絡	横田 和丸・市川 初男		
カップⅡ型およびⅢ型機の光学的追跡結果報告	丸安 隆和・水野 俊一		〃
	大島 太市		
カップ128・ロケット用新型ロケット・ボーン・カメラについて——高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究(第14報)	植村 恒義 長谷川 洸 伊藤 寛治		〃
カップⅡ型1号機の光学的追跡について——高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究(第15報)——	植村 恒義 戸田 健次 山本 芳孝・山谷健三郎		〃
カップⅢ型1号機の光学的追跡について——高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究(第16報)——	植村 恒義 鈴木 忠男 内藤 茂・鷹野 修二		〃
カップⅢ型2号機の光学的追跡について	植村 恒義		

巻号	題	目	著者	発行年月
	—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究(第17報)—		伊藤 寛治	32. 11
	カッパⅢ型3号機の光学的追跡について		山本 芳孝・山谷健三郎	
	—高速飛しょう体の光学的追跡に関する研究(第18報)—		植村 恒義	"
	カッパⅡ型およびⅢ型飛しょう実験記録		鈴木 忠男	
	ロケット搭載電子機器のB電源用トランジスタD. C. コンバータ		内藤 茂・鷹野 修二	
	ロケット観測協力会の成立		糸川 英夫	"
	9・12 テルライトガラスについて		井上 俊男	
	自動車に関する研究問題		高木 昇	"
	吊橋の減衰係数の実測結果		石橋 泰雄・松山 宏	
	連続電量滴定法による水中の塩素または亜硫酸の定量(速報)		下村潤二郎	"
	バルレル仕上(その3)(速報)		今 岡 稔・佐竹 一謙	32. 12
	ラジアル・ガスタービンの研究(第7報)		平尾 収	"
	—放射状直線羽根と彎曲羽根の比較—		岡本 舜三・久保慶三郎	"
	(速報)		高橋 武雄	"
10・1	年頭雑記		桜井 裕	
	腐蝕と繰返応力を受ける構造用鋼の強さ		松永 正久・荻生田善明	
	—腐蝕疲労について—		水町 長生	"
	光学像の改良についての最近の研究—光学におけるフィルタリングについて—		渡辺 要	33. 1
	新しい蒸煮機		岡本 舜三	"
	炭化水素混合液の吸着による分離		北川 英夫	
	ヒズミ制御法および応力制御法による一軸圧縮試験における圧縮速さの撮影について(速報)		斎藤 弘義	"
	10・2 M I Tにおける研究生活		中村 亦夫	"
	人造羊毛とその染色		福田 義民	"
	拡散型微分方程式への微分解		河添邦太郎	
			三木五三郎	"
			今村 芳徳	
			宇田川澄子	
			斎藤 成文	33. 2
			永井 芳男・剣持 寛人	"
			渡辺 勝・安達 芳夫	"

巻号	題	目	著者	発行年月
	析機の応用	新井 義男・渡部 弘之		33. 2
	1 屯試験高炉の鉄鉱石の還元について	金森研究室		〃
	訪ソ旅行メモ (1)	竹中 規雄		〃
	比色法によるブドウ糖水溶液中のヒドロオキシメチルフルフラールの定量 (速報)	吉弘 芳郎		〃
	その1——ベンジジン醋酸による呈色条件の検討——	中村 亦夫		
	その2——ヒドオロキシメチルフルフラールの抽出と定量——			
10・3	溶接構造物の破壊に及ぼす応力除去の影響	安藤 良夫		33. 3
	4次元球面函数について	末岡 清市		〃
	心無研削法について	小川 正義・宮下 政和		〃
	観測ロケット用気圧計としてのピラニゲージ [Ⅲ] ——気圧計の温度補償およびバルーンによる高空気圧の観測——	富永 五郎		〃
	超音波を利用した室内音響のエコーに関する模型実験について (速報)	岡田 繁 金 文沢 渡辺 要 石井 聖光		〃

### C. 生研リーフレット

No.	題	名	研究者名
59	薄板深絞り試験機		山 田 嘉 昭
60	超音波による脆性亀裂伝播速度測定装置		安 藤 良 夫 丹 羽 登
61	継電器接点振動測定装置		森 脇 義 雄
62	トランジスタ定数測定装置		トランジスタ研究班
63	自動定電位電解装置		岡 宗 次 郎 武 藤 義 一
64	建築音響実験室		渡 辺 要 光 石 井 聖 光

### D. 著書および所外の学術雑誌に発表したもの

#### 第 1 部

教授 久保田 広

Experiment on the Sensitive Color (清水嘉重郎と共著) : J. Opt. Soc. America **47**, 12, 1, 121~1, 124, 1957.

教授 玉木 章夫

流体力学Ⅱ(圧縮性流体の力学): 応用力学講座 8. C, 共立出版株式会社, 1957. 12.

流体力学Ⅲ(粘性流体の力学): 応用力学講座 9. C, 共立出版株式会社, 1958. 3.

Experimental Studies on the Stability of the Transonic Flow Past Airfoils: Actes IX<sup>e</sup> Congrès International de Mécanique Appliquée, Tome II, 61~69, Université de Bruxelles 1957; J. Phys. Soc. Japan, **12**, 5, 544~549, 1957.

Studies on the Hypersonic Flow Using a Double-Diaphragm Shock Tube: Actes IX<sup>e</sup> Congrès International de Mécanique Appliquée, Tome II, 266~273, Université de Bruxelles 1957; J. Phys. Soc. Japan, **12**, 5, 550~555, 1957. 5.

助教授 大井光四郎

摩擦型抵抗線歪計: 機械学会秋季東京講演会前刷, 318. 1957. 10.

抵抗線歪計: 材料試験便覧, p. 382~390. 丸善, 1957. 12.

助教授 末岡 清市

級数及直交関数系: 応用数学講座 **3**, 268, コロナ社, 1957. 11.

大学演習「力学」(山内共恭彦と共編), 裳華房, 1957. 10.

助教授 富永 五郎

熱核融合反応とその動力利用の可能性: 日本機械学会・電気学会東京支部共編「原子動力工学」, コロナ社, p. 218~230, 1958. 3.

助教授 森 大吉郎

Lateral Impact on Bars and Plates: Proc. Soc. for Experimental Stress Analysis, **15**, 1, 171~178, 1957.

Use of Analog Computer to Flexural Vibration Problem of Beams.: Proc. 7th Japan Nat. Congr. Appl. Mech., 1958. 3.

助教授 山田 嘉昭

板の加工性試験法: 機械の研究, **10**, 1, 169~176, 1958. 1.

継目無鋼管の圧延作業に関する研究(Ⅱ)(輪竹千三郎外2名と共著): 鉄と鋼, **44**, 1, 21~28, 1958. 1.

Studies on the Rolling of Seamless Steel Tube(輪竹千三郎外2名と共著):

Proc. 7th Japan Nat. Congr. Appl. Mech., 63~66, 1958. 3.

エクспанダ作業に関する研究—様な内圧でおきかえたときの理論—  
塑性加工専門講演会前刷, 139~142, 1957. 11.

せん断変形測定および格子法: 材料試験便覧, p. 402~408, 426~429 丸善  
1957. 12.

技官 小瀬 輝次

格子常数が連続的に変るチャートによるレスポンス函数の測定誤差 (鈴木  
恒子と共著): 応用物理 27, 3, 168~175, 1958.

## 第 2 部

教授 竹中 規雄

工作機械: 機械工学講座, 共立出版 1958. 3.

研削作用に関する研究 (第 6 報) (笹谷重康と共著): 日本機械学会創立 60  
周年記念東京講演会前刷, 第 2 室, 65~68, 日本機械学会 1957. 10.

ソ連の工作機械: マシナリー 21, 1. 別冊, 小峰工業出版, 1958. 1.

教授 鈴木 弘

線材の圧延(第 2 報)—平線圧延の変形について—(柳本左門と共著): 塑性加工  
専門講演会前刷, 1957. 11.

ステンレス鋼線引抜きの際の各種造膜剤について—統報—(大井澄佳と共  
著): 塑性加工専門講演会前刷, 1957. 11.

逆張力ストレートライン伸線機について(石原智男と共著): 塑性加工専門  
講演会前刷, 1957. 11.

工業用加熱炉—下巻—(井田緑郎と共著): コロナ社, 1957. 4.

伸線技術の問題点: 機械の研究, 1957. 6.

ダイス内部の変形: 機械の研究, 1957. 7.

線の引抜き抵抗: 機械の研究, 1957. 8.

引抜き力の計算式: 機械の研究, 1957. 9.

線の機械的性質: 機械の研究, 1957. 10.

伸線技術: 機械の研究, 1957. 11~12.

逆張力伸線: 科学, 1957. 6.

教授 小川 正義

心無研削法に関する研究 (第 1 報, 第 2 報) (宮下政和と共著): 精機学会秋  
季大会講演予稿, 80~83, 精機学会, 1957. 11.

心無研削法に関する研究(第1報)—成円作用の理論的考察—(宮下政和と共著): 精密機械, 24, 2, 89~94, 精機学会, 1958.2.

ねじの切削技術: 最新の切削技術講習会テキスト, 8-1~6, 月刊工業新聞社, 1958.2.

教授 平尾 収

ディーゼル機関の排気煙濃度の測定法に関する研究: 建設機械化協会技術委員会資料, 1957.9.

速度分類計による現実速度調査: 自動車技術, 1958.3.

自動車工学: 機械工学講座, 共立出版, 1958.3.

教授 亘理 厚

摩擦による振動(第3報)(杉本隆尚と共著): 機械学会第34期通常総会前刷, 1957.4.

自動車の力学—ローリングとヨーイング—: 機械学会創立60周年記念東京講演会前刷, 1957.10.

懸架装置と乗心地: 自動車技術会 技術シリーズ, No.2, 1957.11.

助教授 田宮 真

斜波の中の船体運動: 造船協会論文集 101, 67~76, 1957.8.

周期的回転運動を行う円筒面に伴う層流境界層: 船舶, 31, 1, 41~43, 1958.1.

助教授 松永 正久

ラッピング: 誠文堂新光社, 1957.7.

バレル仕上(第1報, 予備実験)(萩生田善明・内藤 敏と共著): 精機学会春期講演会前刷, 1957.4.

バレル仕上(第2報)(萩生田善明と共著): 精機学会秋期講演会前刷, 11, 1, 26~29, 1957.

ラッピングに関する研究(第9報, 平面ラップ盤の運動解析, その2): 同前 1, 26~29.

接触電気抵抗測定法による表面検査(萩生田善明・内藤敏と共著): 精密機械, 24, 3, 16~19, 1958.3.

助教授 大島康次郎

時計ひげぜんまいの非直線性について(第4報): 精密機械, 23, 7, 315~323, 1957.

サーボ弁: 自動制御, 4, 3, 198~204, 1957.

工作機械の做い装置に現われた新しい傾向: 精密機械, 23, 8, 368~375

1957.

助教授 植村 恒義

ロケットの光学的追跡に関する研究（第4報）—ロケット・エンジンの燃焼の解析—（外1名と共著）：第4回応用物理関係連合講演会予稿集，1957.4；精機学会春季講演会前刷，3～5，1957.4.

ロケットの光学的追跡に関する研究（第5報）—高速度カメラによるカップロケットの発しょう特性の解析—（外5名と共著）：第4回応用物理関係連合講演会予稿集，1957.4；精機学会春季講演会前刷，7～9，1957.4.

ロケットの光学的追跡に関する研究（第6報）—光学的追跡装置によるカップロケットの飛しょう特性の解析—（外4名と共著）：第4回応用物理関係連合講演会予稿集，1957.4；精機学会春季講演会前刷，11～12，1957.4.

瞬間写真用電氣的シャッターの研究（第1報）（外2名と共著）：第4回応用物理関係連合講演会予稿集，1957.4.

Faraday 効果による爆発現象 撮影用電氣的超高速度シャッターについて（外1名と共著）：工業火薬協会 32 年会予稿集，1957.4.

高速度写真による爆発現象の解析：工業火薬協会 32 年会予稿集，1957.4.

助教授 安藤 良夫

溶接残留応力が脆性破壊に及ぼす影響の研究（第2報）（木原 博と共著）：造船協会論文集，102，227～232，1958.2.

耐食 Al 合金溶接における諸問題：溶接技術，5，5，303～309，1957.5.

造船屋から見た軽合金：船の科学，10，5，54～57，1957.5.

原子炉用 Al 合金の溶接：熔接界，10，1，2～7，1958.1.

鋼板脆性亀裂伝播速度の超音波透過法による測定（丹羽 登・長谷川功三と共著）：日本音響学会論文集，1，1，11～12，1957.11.

助教授 石原 智男

流体トルクコンバーダの性能について（外2名と共著）：機械学会創立 60 周年記念東京講演会前刷，1957.10.

トルクコンバータ：技術シリーズ，No.4，自動車技術会，1957.

水力機械工学便覧（一部執筆）：コロナ社，1957.

流体トルクコンバータの応用：機械学会誌，61，470，1958.3.

技官 橋爪 伸

金属材料の塑性変形抵抗（第2報）：機械学会塑性加工専門講演会前刷，1957.11.

金属材料の変形抵抗：機械の研究，1958. 1.

助手 井田 富夫

吸出管内空気吸入の水車特性におよぼす影響（第2報，エルボ型吸出管の場合）：機械学会第34期定時総会講演会前刷，1957. 4.

### 第 3 部

教授 藤高 周平

架空線進行波伝播特性による大地固有抵抗の推定（麻生忠雄と共著）：電気四学会連合大会予稿，No. 428，1957. 4.

避雷器の内雷処理能力（広瀬 胖・尾崎勇造と共著）：電気四学会連合大会予稿，No. 372，1957. 4.

Surge Protection of Cable System Connected to Overhead Line (K. Yamazaki, Y. Hirose と共著)：CIGRE Study Committee No. 8, Montreux Switzerland, 1957. 9.

蔵前ケーブル系統の耐雷設計（脇坂清一・山県武典・広瀬 胖・橋川治幸と共著）：電学会東京支部大会，219，1957. 11.

教授 高木 昇

観測ロケット カップ-128 J-T, T R のテレメータ：無線と実験，44, 1, 76~79, 1957. 1.

欧米の電力用エレクトロニクス：オーム，44, 2, 267~270, 1957. 2.

欧米における水晶振動子の現状：通学誌，40, 6, 751~756, 1957. 6.

I E C 会議の感想：標準化，10, 5, 352~357, 1957. 5.

テレメータリングの原理と現状：機械の研究，9, 5, 570~576, 1957. 5.

人工水晶（高原 靖と共著）：通学誌，40, 8, 1957. 8.

観測ロケットのテレメータ：標準化，10, 7, 501~504, 1957. 7.

超音波検査の現状：非破壊検査，6, 3, 101~103, 1957. 5, 6.

観測ロケット：科学，27, 9, 456~462, 1957. 9.

電力用エレクトロニクス-緒論-：OHM，44, 12, 1~3, 1957. 9.

遠隔測定並びに監視制御について（大野 豊と共著）：OHM，44, 12, 64~82, 1957. 9.

超簡易化せるテレメータ送量器（大野 豊・池野和夫と共著）：電学会東京支部大会論文集，No. 29, 1957. 11.

ロケット搭載電子機器のB電源用トランジスタD. C. コンバータ（石橋泰

雄・松山 宏と共著)：電学会東京支部大会論文集，61，1957.11.

教授 森脇 義雄

電子管閉開回路の一構成法(河村達雄と共著)：電気四学会連合大会講演論文集，846，1957.4.

指数分布保留時間の発生装置(河村達雄・久保卓蔵と共著)：電気通信学会全国大会講演論文集 238，1957.11.

待合装置付交換線群の模擬装置(河村達雄と共著)：電気通信学会全国大会講演論文集，301，1957.11.

助教授 安達 芳夫

合金接合型トランジスタのスイッチング時間について(藤江明雄と共著)：電気四学会連合大会講演論文集，784，1957.4.

半導体のアドミタンス変調の周波数特性(尾上守夫・後川昭雄と共著)：同上，783，1957.4.

助教授 丹羽 登

超音波検査法：オーム文庫「非破壊検査の実際」中の一編，オーム社1957.6.

電子管切換同時送受波型超音波流量計(佐下橋市太郎・奥野 裕と共著)：電気学会東京支部大会講演概要，31，1957.11.

鋼板脆性亀裂伝播速度の超音波透過法による測定：日本音響学会講演論文集，1~1~6，1957.11.

電子管切換型超音波流量計(佐下橋市太郎，奥野裕と共著)：日本非破壊検査協会学術講演会概要，II-4，1957.11.

パイプの超音波検査用矩型探触子：非破壊検査，7，2，1958.3.

超音波厚み計用感度標準試験片の提案：日本非破壊検査協会学術講演会概要，II-4，1958.3.

助教授 野村 民也

パルス技術による遠隔計測と遠隔制御：最新のパルス技術，電通学会東京支部編，1957.12.

最近のアナログ・コンピュータ：電学誌，77，8，1,099，1957.8；信号誌，40，7，838，1957.7.

助教授 尾上 守夫

半導体のアドミタンス変調の周波数特性(安達芳夫・後川昭雄と共著)：電気四学会連大，783，1957.4.

Effects of Evaporated Electrodes on Quartz Resonator Vibrating in a

Contour Mode: Proc. I. R. E. **45**, 5, 694, 1957. 5.

## 第 4 部

教授 岡 宗次郎

食塩並びに副産物中に含まれる微量成分の定量(和田芳裕と共著): 日本塩学会誌, **11**, 139, 1957.

$\beta$  線源としてストロンチウムの電着について(間宮真佐人と共著): 第1回原子力シンポジウム報文集, p. 545, 1957.

教授 高橋 武雄

ヨーロッパの研究所視察記: 重分子, **6**, 341, 1957. 6.

リスボン国際分析化学会議々事録: 分析化学, **6**, 590~594, 1957. 9.

欧州とところどころ (1-22): 化学工業時報, 886~908号, 1957. 2., 10.

アルギン酸—研究より生産まで—: 高分子, **6**, 554~508, 1957. 10.

欧州における分析化学の現況: 分析化学, **7**, 53~60, 1958. 1.

連続電量滴定装置の原理ならびに構造(仁木栄次・桜井 裕と共著): 分析化学, **7**, 93~98, 1958. 2.

連続電量滴定装置の操作条件 (仁木栄次・桜井 裕と共著): 分析化学, **7**, 98~103, 1958. 2.

教授 福田 義民

石油化学工業における吸着装置: 化学工学協会石油化学装置シンポジウム, 33~38, 1958. 2.

教授 永井 芳男

2, 9, 10-トリクロル・アントラセンのモノスルホン置換(田辺正士, 剣持寛人と共著): 工化, **60**, 1048~1051.

9-クロル・アントラセンのモノスルホン化(田辺正士, 清水治通と共著): 工化, **60**, 1156~1159.

芳香族化合物のシアンエチル化(剣持寛人と共著): 有機合成化学協会誌, **15**, 640~645.

教授 山本 寛

イオン交換: 新化学工学講座, 日刊工業新聞社

教授 浅原 照三

顔料の充てん(早野茂夫と共著): 色材協会誌, **30**, 107~111, 1957. 4.

脂肪酸ビニルエステルとアクリロニトリルの共重合に関する研究: 油化学,

6, 331~5, 1957. 11.

1-ニトロプロパンよりヒドロキシルアミンの合成：油化学，6，335~7，  
1957. 11.

油脂：色材協会誌，30，329~335，1957. 10.

ドデカンのニトロ化：工化，60，1543~5，1957. 12.

粉体のぬれを中心とした湿潤について(早野茂夫 共著)：油化学，6，404  
~10，1957. 12.

金属のさび止め—特に有極性さび止め添加剤について：油化学，6，449~  
459，1957. 12.

有機接触還元：有機化成化学協会誌，15，217~223，1957. 5.

高屈折樹脂塗料に関する研究：色材協会誌，31，11~19，1958. 1.

染色加工講座第1巻：共立出版社，1958. 2.

助教授 野崎 弘

A Theory on Photosensitivity and Development in Silver Bromide  
Emulsion: Photographic Sensitivity, 2, 1958. 2.

助教授 山辺 武郎

イオン交換平衡に対する一考察：化学の領域，11，500~505，1957. 7.

陰イオン交換による人工海水(Na, Ca—Cl, SO<sub>4</sub>)の精製(第4報補遺)(馬場  
勉・下条うた子と共著)：日本塩学会誌，11，119~120，1957. 4.

助教授 加藤 正夫

ラジオアイソトープの工業的応用技術(三輪博秀・武谷清昭・池田朔次と  
共著)：化学の領域，増刊26号，アイソトープ実験技術3，南江堂，  
1957. 5.

亜鉛—アルミニウム系共析合金の分解と時効に及ぼすマグネシウムの影響  
：今井教授記念論文集，115~125，1958. 3.

オートラジオグラフィによる合金の研究—Fe-59による高純度アルミニウ  
ム中の鉄の挙動の観察(小林昌敏と共著)：第1回日本アイソトープ会議  
報告書，日本原子力産業会議，69~71，1957. 4.

放射性同位元素 110m Ag を用いた銅陽極中の銀の挙動に関する研究(武谷  
清昭・佐々木吉方と共著)：同上，75~81.

放射性ガラス砂を用いた漂砂の追跡の現場実験(猪瀬寧夫・佐藤清一と共  
著)：同上，89~97.

アイソトープの工業への応用：日本原子力研究所ラジオアイソトープ研修  
所，基礎課程予稿集，125~160，1958. 2.

助教授 武藤 義一

希土類元素の分析法（第1報）（間宮真佐人と共著）：分析化学，7，21～24，1958.1.

分析用機器取扱法：分析化学講座，共立出版，10 卷C，1957.8.

電解分析法：実験化学講座（丸善）15 卷8章，1957.9.

吸光及炎光分析法：工業分析近代化講習会テキスト，日刊工業新聞社，1957.9.

化学分析から機器分析：ケミカル・ニュース，5，46～47，1957.8.

化学分析と計測：計測，7，367～371，1957.7.

助教授 松下 幸雄

非可視現象の取扱い方（I）：鉛と鋼，43，7，749～755，日本鉄鋼協会，1957.

同 (II)： " ， " ， 8，849～854， " ， "

同 (III)： " ， " ， 10，1153～1158， " ， "

技官 中村 康治

Untersuchungen über Gusslegierungen auf Aluminium-Magnesium-Basis  
（加藤と共著）：Aluminium（ドイツ）33，Nr.3，März 1957.

鋳物用アルミニウム—マグネシウム合金の研究，—第5報 高マグネシウム域におけるケイ素の影響—：軽金属，27，48～55，1957.11

研究員 河添邦太郎

吸着における平衡と物質移動：化学工学，21，328～334，1957.5.

吸着：新化学工学講座，12，日刊工業新聞社，1957.12.

## 第 5 部

教授 渡辺 要

防寒構造：理工図書，1957.8.

防暑防寒計画：建築学大系，22 卷，彰国社，1957.3.

室内気候計画総論：同 上

静岡市体育館の音響について（石井聖光・木村 翔と共著）：建築学会関東支部第23回研究発表会，1958.2.

吸音に関する実験（第4報—布張り仕上げ壁の吸音性について）（石井聖光・木村 翔と共著）：同 上

読売ホール音響について（石井聖光・木村 翔と共著）：同 上

壁面からのエコーに関する模型実験について(石井聖光と共著): 同上  
北陸放送会館の音響について(石井聖光・木村 翔と共著): 建築学会論文  
報告, 57号, 1957.7.

読売TVホールの建築に際して行つた“Tailor Making”について(石井聖  
光・木村 翔と共著): 音響学会講演論文集, 1957.11.

教授 **星 楚 和**

道路工学(上): コロナ社, 1957. 3.

A General Theory of Mechanics of Soils: Proceedings of the Fourth  
International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engi-  
neering, 1 pp. 160~166, London, 1957.

Triaxial Methods of Testing Soils: Report on Researches and Investi-  
gation, Japanese Society of Soil Mechanics and Foundation Engi-  
neering, pp. 14~17, 1957.

土の圧密急速三軸試験(榎本歳勝・金子 豊と共著): 土木学会年次講演会  
講演集, 127~128, 1957. 6.

教授 **丸 安 隆和**

新制測量(上・下): オーム社, 1957.4

測量学: コロナ社, 1958.3.

天然色航空写真に関する研究: 土木学会年次講演会講演集, 1957.6

コンクリートの品質管理のための無破壊試験の利用について(水野俊一と  
共著) 土木学会誌, 42, 12, 11~18, 1957.

助教授 **勝 田 高 司**

スチール・サッシュの気密度について(後藤滋・寺沢達二と共著): 建築  
学会関東支部第 22 回研究発表会, 1957.6.

マフラの吸音に関する実験(後藤 滋・寺沢達二と共著): 同上

吹出口吸音ユニットの実験的研究(後藤 滋・寺沢達二と共著): 建築学会  
関東支部第 22 回研究発表会, 1957.6

スチール・サッシュのすきまによる換気量(後藤 滋・寺沢達二と共著):  
建築学会論文報告集, 57号, 1957.7.

マフラ型共鳴吸音ダクトの実験(後藤 滋・寺沢達二と共著): 同上

共鳴型マフラに関する実験(2)(後藤 滋・寺沢達二と共著): 建築学会  
関東支部第 23 回研究発表会, 1958.2.

円筒形グライндаの排気フード(後藤 滋・寺沢達二と共著): 同上  
労働環境の改善とその技術一局所排出装置による一(後藤 滋その他との

共著)：日本保安用品協会，1957.9.

助教授 久保慶三郎

アスファルト合材の2,3の物理的性質：土木技術，5，8，1957.

助教授 池辺 陽

$x^n = 2^k (k=0 \dots \dots 9)$  にあらわされるモジュールについて：学会大会論文  
集，建築学会，1957.8.

秋田県立中央病院：新建築，建築文化(彰国社)，1957.5.

地方性の問題：126号，建築文化(彰国社)，1957.5.

標準化と自由：リビングデザイン，現代子(美術出版社)，1958.1.

助教授 三木五三郎

道路安定処理工法：機械化施工最近の傾向，1～49，建設機械化協会，  
1957.10.

トラフィカビリティーの判定について：建設の機械化，94号，28～31，  
1957.12.

ロードスタビライザの現状と将来：建設の機械化，97号，21～24，1958.  
3.

助教授 田中 尚

累加強度に関する一考察：建築学会論文報告集，57号，p. 261，1957.7.

撓角法(増補版)(故小野薫と共著)：紀元社，1957.10.

助手 石井 聖光

オーディトリアムの“テーラーメーキングシステム”について：音響学会  
講演論文集，163～4，1957.5.

壁面からの“Echo”に関する模型実験について(第1報)：同上，127～8，  
1957.11.

助手 水野 俊一

コンクリートの品質管理のための無破壊試験の利用について：土木学会  
誌，42，12，11～18，1957.